

自動車整備業における女性が働きやすい環境づくりのためのガイドライン

自動車整備業は、その仕事内容等により男の職場というイメージが定着していますが、近年、自動車の電子化等により作業内容が変化したことや、女性特有のきめ細かな対応による顧客対応サービスの向上等から、女性の自動車整備士にあらためて注目が集まっています。

国土交通省自動車局では、自動車整備人材確保・育成推進協議会と協力し、現役の女性整備士の活躍の事例やそのための職場の改善ポイント等を集め、関係事業者への周知や女性に対する自動車整備業のPR活動等を行っているところです。

今般、これらに加え、女性整備士の活躍を推進するため、自動車整備に従事する女性整備士に対するアンケート調査を実施し、その結果に基づいて、「自動車整備業における女性が働きやすい環境づくりのためのガイドライン」を策定しました。

1. 工具・機器の改善、作業分担の工夫

〈ポイント〉

- 望まれている工具及び機器の仕様、作業による身体的負担を参考に、身体的負担の軽減のための器具・工具の導入や、男性整備士との作業分担の工夫を検討し取り組むことが望ましいです。

アンケートの結果、女性整備士は、同じ作業であっても男性整備士よりも身体的な負荷を感じやすく、体力面・筋力面に不安を抱えており、女性に優しい工具及び機器の導入や、男性整備士との作業分担を望む声があります。

〈望まれている工具及び機器の仕様〉

- 軽量化・コンパクト化
- 省力化（柄の長い道具）
- 振動の軽減

〈作業による身体的負担〉

- 女性整備士が身体的負担を感じやすい作業
 - ・ 動力伝達装置、エンジン、足回り（ブレーキ、サスペンション）の整備作業
- 女性整備士が身体的負担をあまり感じない作業
 - ・ 外装の整備作業、室内での作業

2. 設備面の改善

〈ポイント〉

- 女性整備士の雇用のためには施設・設備面の改善も大切です。特に、工場内の空調設備の改善や男女別のトイレを望む声が多いです。

アンケートの結果、最も多く望まれている設備は工場内の空調設備であり、特に、冬の暖房設備を望む声が多くありました。また、男女別のトイレ、シャワールーム、更衣室を望む声もあります。

〈望まれている設備〉

- 工場内の空調設備（冷暖房）
- 男女別の設備（トイレ・更衣室・シャワールーム）

3. 制度や体制面の改善

〈ポイント〉

- 出産・育児などライフイベントに対応した休業制度、勤務体系、復職研修制度の導入に取り組むことが望ましいです。

アンケートの結果、女性整備士からは、出産・育児などによりキャリアの継続に不安を感じるという声が多くあります。具体的には、柔軟な勤務体制を望む声が多く、次いで、産休・育休明けの復職研修制度を望む声が多くあります。

また、女性整備士を雇用し、これらの作業環境の改善に取り組むにあたり、自治体等による『女性活躍推進』のための助成金や補助金の支援制度もありますので、ご検討の際の参考としてください。

〈望まれている制度や体制〉

- 早期退社など柔軟な勤務体系
- 産休、育休明けの復職研修制度
- 出産・育児等に伴う休業制度の導入・拡充